

## 小さいけれど 力持ち

陶史の森には、たくさんの湿地があります。湿地にしか生息しない植物や動物は数多くありますが、中には絶滅寸前の貴重なものもあります。イシモチソウもそのひとつです。

直径1センチにも満たない小さな白い花がかわいらしいイシモチソウですが、三日月形の葉には多くの毛があり、その先から粘液を出します。くっついた小石を持ち上げる程強い粘着力があることから、イシモチソウと呼ばれています。イシモチソウは、この強い粘液で虫を捕らえて消化・吸収する食虫植物です。

イシモチソウが生息する湿地は、一般的に栄養が不足している地質です。根や葉から吸収した養分だけでは子孫を残すことが難しいため、イシモチソウは小さな虫を捕まえて養分を吸収し、種子を結実させる可能性を高めているのです。

陶史の森にはモウセンゴケやミミカキグサなどの食虫植物が多く生息しています。彼らはちょっとした環境変化にも対応できない、か弱い植物たちばかりです。そっと見守り「とるのは、写真だけ」にして、絶滅危惧から救ってあげたいですね。



森の

日記

## ギフチョウの観察会 4月7日(日)

自然観察指導員による説明の後、30匹のギフチョウが入った箱のふたが開けられると、参加者からは「きれい！」と歓声が上がりました。皆さん、ギフチョウを食い入るように見つめたり、カタクリなどで羽を休める姿を撮影したりと、“春の女神”の美しさを堪能していました。



## ヒツジの毛刈り

4月18日(木)



遠足で来た小学生などが見守る中、4頭のヒツジたちはモコモコの毛を刈られ、一回りも二回りも小さくなっていきました。

また、メイちゃんのお腹に赤ちゃんがいることが判明しました。元気な子ヒツジに会うのが楽しみです。

## 教室のご案内

## 6月

夏の天体教室 (要申込・定員20人、雨天中止)

6月8日(土) 18:30~21:00

初夏の星座や土星を観察します。

ミツバチ教室 (要申込・定員120人※)

6月16日(日) 9:00~11:30

蜂蜜搾りを体験し、味わいます。

※既に定員に達しましたが、見学は可能です。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

6月23日(日) 9:00~11:30

初夏の野鳥を観察します。

## 7月

草花標本づくり教室 (自由参加)

7月7日(日) 9:00~11:30

植物を採集・観察して標本を作ります。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

7月28日(日) 9:00~11:30

夏の野鳥を観察します。